

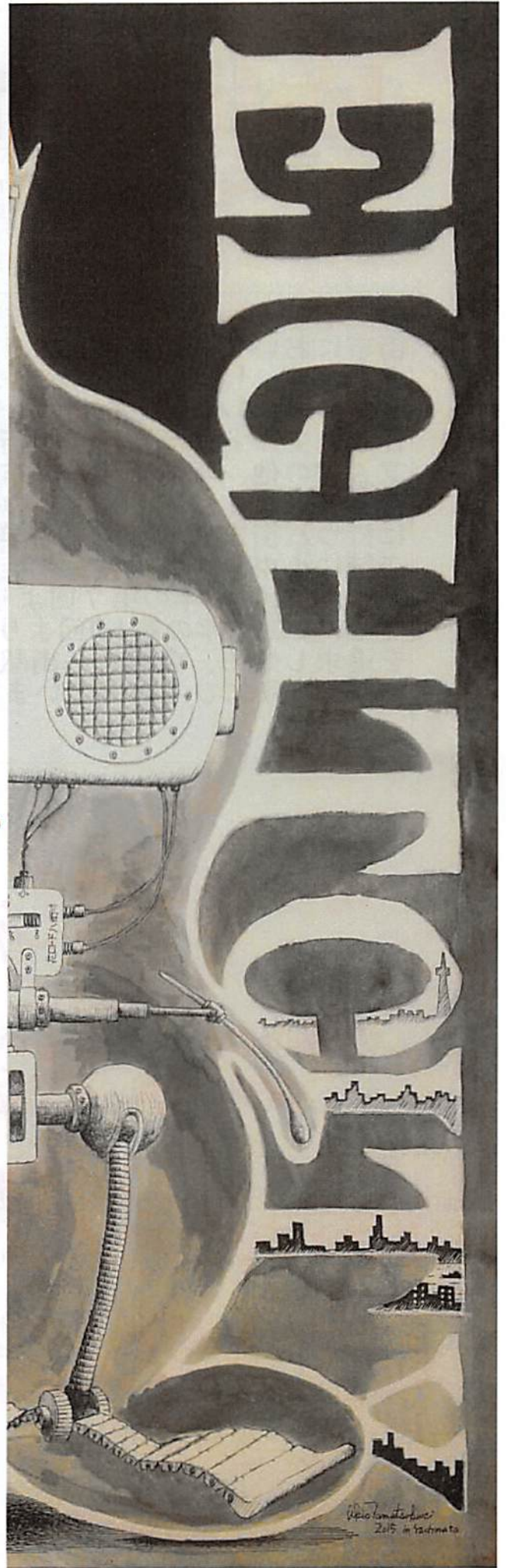
Our town becomes Yachimata Museum with these ...

8 episodes

8 artworks

8 messages

8 places



# Episode1 はじめに

## ～八街ミュージアムとは～

**八街ミュージアム**（やちまたミュージアム）は美術館のない八街市において、街全体を大きな美術館に見立てたアートプロジェクトです。「八街市全体がミュージアム」というコンセプトのもと、11月の八街大祭にあわせて市内小中学校の児童・生徒が制作したアート作品数百点が街を彩る約半月の展覧会**八街ミュージアム展**の他、年間を通して市内各所で様々なミュージアム活動を行っています。2009年の第1回は、八街駅南口商店街を学区に持つ八街市立八街中央中学校区による、八街駅南口商店街の各店舗に小中学校の児童・生徒が制作したアート作品を飾る展覧会でした。2015年の第7回より市内小中学校による展覧会になり、さらに2018年の第10回よりアートプロジェクトとしての可能性を追求し始め、会場も八街駅南口商店街を中心にした八街市内の様々な場所にひろがっています。

2019年8月配付のチラシ「第11回八街ミュージアム展」より

小学校の図工室、中学校の美術室は、  
アート作品の宝庫！

学校は、数千人の小さなアーティストたちが、  
日々新しい作品を生み続ける場所！

その素敵な作品を、  
先生と友達とお家の人だけがみるのはもったいない！

だから八街の小中学生の作品は街に出る！  
それが八街ミュージアム展！

2019年8月配付のチラシ「八街アートウィーク秋」より

Episode1 はじめに ～八街ミュージアムとは～ … 1

Episode2 トークイベント … 3

証言1 バルサミコヤス（アーティスト）個展開催  
展示スペース1 『Nats up?』（コワーキングスペース）  
■資料 八街アートウィーク 2019秋  
■資料 第11回（2019年）八街ミュージアムスタンプラリー用紙

Episode3 History① 1997～2014 学校のアート街に出る … 7

【印旛地区の図工・美術】  
【八街の図工・美術】  
年表1 黎明期（第1回以前 1997年～2008年）  
八街を描く1 『八街市ふれあいバス』  
【八街ミュージアムと研究発表】  
【近隣にライバルをつくる「成田アート博覧会」】  
年表2 創成期（第1回2009年～第6回2014年）  
八街を描く2 『ふるさとの赤い土』道徳副教材挿絵

Episode4 History② 2015～2019 アートプロジェクト …11

【3校から12校へ】  
年表3 過渡期（第7回2015年～第9回2017年）  
【「このプロジェクトには将来性を感じない」】  
【アートプロジェクトの可能性】  
年表4 発展期（第10回2018年・第11回2019年）  
八街を描く3 『社会科副読本「わたしたちの八街市」原画展』個展  
証言2 佐藤誠一郎（川上小学校）個展開催  
八街を描く4 『最後の本屋さん』シャッター画

Episode5 授業～《表現》《発表》《鑑賞》を循環させる～ …16

《発表》：【1年生「写生会」導入：「THE八街駅展」】  
展示スペース2 『八街駅市民ギャラリー』（JR八街駅自由通路）  
展示スペース3 『コットン村イトウ倉庫特設ギャラリー』（2018年使用）  
《表現》：【1年生「写生会・八街駅を魅力的に描く」（14時間）】  
《鑑賞》：【2年生「美術を通して社会にどう貢献できるか」（3時間）】  
証言3 須藤広将（須藤薬局）  
《鑑賞》：【3年生「動画配信授業・八街駅」（全5回）】

Episode6 ギャラリー拓道プロジェクト …20

展示スペース4 『ギャラリー拓道』（八街商工会議所1階展示スペース）  
【中学生が個展を開く】  
証言4 影山祐子（佐倉市立西志津中学校）  
【市内4校の美術部による八街市中学校美術部展】  
展示スペース5 『やちまたアートビッド』（八街市中央公民館1階ロビー）  
展示スペース6 『八街市中央公民館』

Episode7 History③ 2020～新生活様式期 …25

【2020年】  
【第12回 お店+Web開催】  
八街を描く5 『八街のピアノノ』ストリートピアノ  
証言5 合屋あさえ（和音代表）ストリートピアノ企画  
年表5 新生活様式期（第12回2020年～）  
八街を描く6 『YACHIMATA漫画化プロジェクト』漫画制作  
証言6 秋葉千尋（成田市立成田中学校・成田アート博覧会代表）

Episode8 未来 …28

～小・中学校はアートプロジェクトに向いている～  
【美術教師は「アーティスト・イン・レジデンス」である】  
八街を描く7 『Yachimata City Serenade』個展  
【「街」は小・中学校の卒業生で構成されている】  
【小・中学校は「アートプロジェクト」に向いている】  
証言7 森川琢也（八街東小学校・八街ミュージアム副代表）  
証言8 多くの人々から  
【美術教師は、すでに「アートプロジェクト」を実践していた】  
展示スペース7 『自宅手作りぎやらりー まかろん』（2019年閉館）  
八街を描く8 『富里・八街国際空港』絵画  
【Yachimata art city 構想】  
展示スペース8 身近な全ての場所に

# CONTENTS



# Episode2 トークイベント

第11回(2019年)八街ミュージアム展最終日に行われたトークイベントの様子。個展を開催したバルサミコヤス・玉造明男・佐藤誠一郎をはじめとする8名が、様々な立場、様々な角度から「八街」「アート」「八街ミュージアム」を語りました。



## 第11回八街ミュージアム展クローズingtークイベント 八街ミュージアムを語る

- ・バルサミコヤス (アーティスト)  
『個展〜バルータバニート〜』
- ・玉造明男 (八街中学校、美術科教師、美術部顧問)  
『個展〜Yachimata City Serenade〜』
- ・佐藤誠一郎 (川上小学校、教諭)  
『社会科副読本「わたしたちの八街市」原画展』
- ・長谷川正幸 (八街市協会のまちづくり推進委員会 委員長)
- ・古内博 (八街市役所 市民部 市民協働推進課長)
- ・柘植ひとみ (八街市在住/ボランティア等)
- ・合屋あさえ (ボランティア楽団「和音」代表)
- ・bill (養生直談) (NutsUp?/NPO法人やちほり代表)

Nuts Up? バルサミコヤス個展会場よりFacebookにてライブ配信  
企画・撮影：小藪和美

## 街の中に人がそれぞれ持っているものを、それぞれ表現できるって場所が「八街のミュージアム」

【司会：bill】まず、八街ミュージアムへの想いを語っていただけますか。

【玉造】今回11回目になります八街ミュージアム展。元々は「八街ミュージアム」という名前、商店街に小学校・中学校の児童・生徒の作品を飾るという所からスタートしました。最初は、ここ八街中央中学校区でやっていたのですけれど、5年ほど前から市内全域に広がりまして、12校で行っています。去年(第10回)が終わったところから、八街市全体を美術館とし、年間を通して「八街ミュージアム」、年に一回行う展覧会を「八街ミュージアム展」という言い方に変えました。今年、たくさん個展など、色々な協力で、たくさん広がって、今日無事「八街ミュージアム展」は終わりますが、まだまだ「八街ミュージアム」は続いていくので、今後もよろしく願います。

【バルサミコヤス(以下「バル」)】街全体がアートな街になっているっていうのが、すごくよくて、スタンブラーもするから、普段絵に触れない方も、私の個展もそうですけど来て下さったり、ここでまた友達とかに会えて、コミュニケーションが生まれて、すごくいい企画だと思いました。

【長谷川】ミュージアムという考え方が、そもそも素晴らしい。街の中に人がそれぞれ持っているものを、それぞれ表現できるって場所が「八街のミュージアム」っていう考え方。入り口は沢山あった方がいいし、どこにあってもいい。障害の有無、絵画、芸術、音楽、遊びなど様々。それが人をつくっていく。そのとっかかりを先生が作ってくれているっていうのが、ありがたいなって思っています。

【バル】人の目に触れる、自分の作品を見てもらえるっていいですね。小学生や中学生が自分の作品を飾ってもらって、学校の中じゃない色々な方に見ていただいて、「すごいね」とか言われる。それが、絵画に対する気持ちがあがる良い経験だと思う。

【長谷川】アートを表現できる場所を、表現した人が選べると、もっといいなって。それこそが八街の中が美術館という。今日飾ったものを、もっとこんな場所で表現したいなって、もっともっとと素敵なミュージアムって意味では大きいかなと思います。

【玉造】日本中、世界中の学校で、作品は日々つくられています。小学生ならお家に

持って帰って、お家の方に見せたりするんですけど、中学生はお家の方にすら見せないこともある。そうすると、せっかくつくった素敵なもの達が、誰の目にも触れずに消えていってしまう。思春期の子ども達はシャイですから、見せたくないっていう気持ちもある。でも、絶対、飾ってもらえると嬉しかったり、お家の方も嬉しいうえ、自分の作品を見て誰かが褒めてくれたり、「見たよ」と言われると、ちょっとワクワクしちゃったり、恥ずかしかったり、照れくさかったり。そんな感覚をいっぱい持つてくると、自分の作品をお家に飾ろうとか、知り合いのお店に飾らせてもらおうとか、バルさんみたいに個展を開こうとか、どんどん表現していきこうという主体的な動きが出てくると、素敵な街になると思います。

## 「最近、いったい何が起きているんだろう」という感覚が一主婦としてありました

【司会：bill】今回、音楽関係の2名の方がいらっしゃるの、目に見えない音楽との融合の可能性は難しいかもしれませんが、いかがでしょうか。

【柘植】そういう視点で考えていけそうな気がします。このこと自体は私にはわかりきってなかったんですが、私自身がスーパーに買い物に行って、あちこちで子ども達の作品が飾ってあるのを目にした時「最近、いったい何が起きているんだろう」という感覚が一主婦としてありました。八街市の主婦は、みんな同じように感じている部分があると思います。だんだん背景が見えてきて、すごく良いことだなと感じました。子ども達の音楽と共通するのは「表現」ということですね。今、SNSなどが盛んになってきて、人と人とのコミュニケーションがバーチャル的に行われているところが多い。想像はできるけど、実際の人間に会った時に、どうしようってなっちゃうようなパターンが結構あると平日頃か思ってきた。生身の人間が実体験をして強くなっていくことが大切で、そうすることで大人になってから色々な壁や波に対して強くいられて、自分の人生を強く生きられると思うので、漠然としています。色々なところで役に立つ、非常に良いことだと感じていました。

【合屋】実はストリートピアノを八街市につくりたいというプロジェクトを少しずつ始めてまして、玉造先生にお力をいただいて、ピアノのペイントをおこないます。八街市の、できれば希望としては駅とか皆さんが集まる所に設置させてもらって、いわゆる絵と音楽との融合のものをひとつ、作品として作りたいと、動いています。これからどんどん発信していきますので、ご協

力いただければと思っています。

## この街のどこかで、自分のやりたい何かが表現できる場所があるってことが、一番大事なものでしょうね

【司会：bill】八街ミュージアム展は今日で終わりますが、次回開催について教えてください。

【玉造】今年はお祭り(八街大祭)が台風の関係で無くなってしまいました。南中学校区、北中学校区など、駅から遠い人たちも、お祭りによって集まるタイミングで、作品を見にいけることを考えて、毎年お祭りの時期の2〜3週間に開催しています。来年も今回と同じ時期に「八街ミュージアム展」を開催する予定です。さらに年間を通して活動として、現在シャッター画を描いていたり、これからストリートピアノの制作にはいたり、その他皆さんの企画もおこなっていきます。自分が企画するものもありますが、多くの場合は色々な方から「美術部でどうですか」と声をかけられたものです。街の人々の中から「こんなことをしたいんだ」というアイデアがわき出て、はじめて、八街ミュージアムが完成すると思っているので、色々な所で盛り上がる手助けや、きっかけ作りができたと思っています。

【佐藤】今回、30年ぶりにリニューアルする、八街市の小学3、4年生が使う社会科の副読本のイラストを担当させてもらって、今回、八街ミュージアム展に、八街のアートの一つとして駅ギャラリーの展示を出してもらいました。自分自身が、八街の出身で、八街の小中学校を出て、今、八街で勤務している状態で、八街とつながりが深い状態で、参加させてもらいました。これからは八街の子ども達や八街のアート、これからの八街のために、自分も一緒にやっていけたらなという思いが強くあります。

【古内】今、お話を伺っていて、11年間続けられているそうで、私自身(八街ミュージアム)の情報が入ったのが2年前なんです。皆さんと一緒に情報を共有したり、連携したり、発信したり、色々な手法を今後考えていかないといけないと感じます。行政側として、行政が発信している情報は安心できるというのもあると個人的には考えている。市全体で情報を共有し、一人一人が当事者、街を作る一人一人なんだと思える街づくりをしたいと思っています。

【長谷川】結局、ミュージアムっていうのは、自己実現、自己表現の場であって、見る・聴く(受け身)だけでなく、五感でしっかりそれを感じるところ。触覚であったり、においであったりが一番大事で、それ

が自己表現の中で出て行くっていうこと、それが先ほど先生がおっしゃった「主体的」にここに行く。それこそが街をつくっていく時に、一番大事な一歩。自分でやりたいこと、表現したいこと、それがこの街のどこかで、自分のやりたい何か表現できる場所があるってことが、一番大事なものであるよね。それを玉造先生が実践されているのが、非常にありがたい。

【古内】今後、ほんとに、色々な表現ができる場が、色々な所にできるといいですね。その拠点として「Nuts Up?」があるのかなっていうのも感じます。

## 八街の外の街から来た私にとって、来やすい街

【司会：bill】バルサミコヤスさんは山武市(※プロフィールでは「山武バルバ之星」)の方ですが、外から見た八街の印象はいかがですか。

【バル】八街の外の街から来た私にとって来やすい街。皆さん仲間みたいに温かく協力してくださったり、私のお客さんに対しても温かくしてくれたのがよかった。私、こうでなきゃならないってのは無いと思う。先生の一言ですごく大事で、私は(茶色い)瓦を緑で描いたんですね。そこで「ちゃんど描きなさい」って言う先生もいると思うんですけど、その先生は「いいんじゃない」みたいな。専門学校行った時に、みんな絵とかデッサンとか教えてもらってたんですけど「あなたは、そのままやりなさい」って言われたから、学校行ったけど、何も習ってないんですね。でも、それが良かったのかと思いますよね。見守るって言うか、教えることが全てではなくて、自分で考える力とか、アシストしてあげると言うか、選択肢をあげるって言うのも先生の役目なのかと思います。

【柘植】音楽でも音を聞いたときに「何色の音がする」って考え方があって、それも自由で正解はなくて、子ども達が思う色なんですよ。子ども達の感じ方を引き出すために「この音何色？」って聞きます。絵でも音楽でも共通点があるなと思いました。

【佐藤】図工とか美術でもそうで、子どもが感じ取るものはそれぞれ違って、表現するのも違って、それを生かしてあげるのが図工・美術の教員の仕事かなって思います。作品を見て、なんか良いなあっていうのを感じ取る感受性を育てられれば、その子が大人になった時、色々な作品を見て、色々な感動が得られたり、そこが教科として大事な事だというのがすごくあって、だから教える時に、その子の良さをみつけてあげて、その子らを作るようにとか、自分のアートを感じられるようにするってのが大事かなって思います。

【合屋】音楽も一緒に、これじゃ無きゃいけないではなくて、できないじゃなくて、やってみようと思わせることが、子ども達の成長の過程でも大事かなって思います。

【玉造】八街ミュージアム展を主催しているのが、八街市内の図工・美術部会っていう、図工の先生と美術の先生の団体で、これは千葉県にもあって、印旛にもあって、図工と美術っていうのは、常に一緒に交流しながら、一緒に活動している。子ども達を育てていくなかで、子ども達の良さを引き出していくなかで、その子の持っている美しさ、その子の持っているその子なりの良さを引き出していくなかで教科になっています。

【長谷川】能力と資質を引き出すっていうことですね。それが多様性を認める、結局そこに通じてくる。

## 街というのは小中学校の卒業生で構成されている

【玉造】今、八街の商店街に小中学校の作品を飾るわけですけど、街にいる人の8割・9割はどこかの小学校か中学校の卒業生なんですよ。街というのは小中学校の卒業生で構成されている。だから、アートな街にしたければ、得意や不得意はあるかもしれないけども、小学校中学校で図工

や美術を大好きな状態で、アートって良いな、見るのも作るのも楽しいって状態で卒業させない限りは、この街はアートから離れていっちゃうんで、自分たちはアートが、図工や美術が好きでいい状態で外に出していき、たぶん音楽の先生は音楽大好き、体育の先生は体育大好き、そんな風に勉強するってつらいことじゃなくて、楽しいこと、新しいことを覚えていったり学んでいくことはすごく嬉しい喜びなんだってところを、どの教科も目指しているのが、これからの、今の教育だと思います。

【長谷川】人間ってというのはみんな凸凹があるわけで、そこを自分で見つけ出す、それを引き出してくれる、表現できる場がミュージアムの中にある。だから八街ミュージアムの未来は、ある意味開けている、色々な出口があると思います。

## 美術だけでなく、子ども達の表現を多くの人に楽しんでいただき、素敵な表現を感じていただきたい

【玉造】今回、八街ミュージアム展のスタンダラーと別に、少し前にチラシを作りまして、その裏側には「八街アートウィーク」について印刷されています。八街ミュージアム展の前後、「八街演劇祭」「八街市民音楽祭」や八街の花ひまわりを展示する「ひまわりの絵コンクール」、各教科のたくさんの作品が公民館に展示される「八街市情探展」など、全部ひっくるめ、八街がアートに彩られる8週間を「八街アートウィーク」と名付けました。ぜひ美術だけでなく、子ども達の表現を多くの人に楽しんでいただき、素敵な表現を感じていただきたいです。そして子ども達もそれによって嬉しい気持ちになり、もっともっと表現していきっていい気持ちになるといいなと思っています。

【司会：bill】ありがとうございました。今後ともこのようなライブ配信を、テーマをかえ、人をかえ、どんどん繰り返していくと、「8」が「∞」になっていくかもしれません。

ライブ配信は下のアドレスで視聴可能

<https://www.facebook.com/yadimujiautheater>



## 証言1 バルサミコヤス (アーティスト)

はい、みなさんこんにちは、私の名前はバルサミコヤスです。私のことは、バルさんと呼んでください。

中学生とか皆さんの作品が、この街にあふれることによって、美術館や普通のギャラリーでは味わえないような絵がどんどん広がって、アートを通して、人とのコミュニケーションが広がればいいかなと思います。

この展示会場の名前は、～バルータパニート～といいます。スペイン語でバルータは男性名詞でカワイイ、パニートは女性名詞でカワイイを意味します。みんなそれぞれ、カワイイがきっと違うと思うので、あなたのカワイイを見つけてみてください。

それではお薦めのポイントを3つ、お話ししたいと思います。1つ目、作品についてです。一度見たら忘れられない色遣いです。感情や気持ちを、目に見えないものを色で表現しています。そして2つ目は、高さ2.7メートル、横8メートルの壁画です。題名は「ライン」と言います。昨年、千葉アクアラインマラソン2018で使用された、実際のスタジオセットを持ってきています。手形アートにも注目です。そして最後3つ目、このギャラリーの天井と壁画アートです。毎週変わる壁画アートにご注目です。10月26日土曜日は、実際に皆さんと一緒に手形のアートワークショップを行います。ぜひひと押ししに来てください。それでは、お待ちしております。今日も素敵な一日を!

(2019.10.16 個展会場「Nuts Up?」にて動画撮影)

バルサミコヤス (ばるさみこやす) 山武市ばるばる星出身。きやりーばみゅばみゅ「つけまつける」美術造形制作。ももいるクローバーZ 佐々木彩夏「君が好きだと叫びたい」CDジャケット デザイン制作他。2019年第11回八街ミュージアム展の会期に合わせ、「バルサミコヤス個展～バルータパニート～(10/14～11/3 Nuts Up?)」を開催。



## 展示スペース1 『Nuts up?』 (コワーキングスペース)

「バルサミコヤス 個展～バルータパニート～」の会場。

階段の壁画が目じるし。「コワーキングからはじまるまちづくり」をコンセプトにしたコミュニティ型コワーキングスペースとして、地域のまちづくり拠点を目指し、オフィスだけでなくショップやカフェ機能に加え、学びや情報交流、様々な市民活動の環境をサポート。



「八街アートウィーク2019秋」のチラシは、2019年8月末より市内各所・県内美術館等（千葉県立美術館／千葉市美術館／千葉市民ギャラリー・いなげ／佐倉市立美術館／DIC川村記念美術館／ギャラリー拓道／いきいきサロン／Nuts Up?／自宅手創りぎやらりーまかろん他）で配付された。また、8月21日八街市教育講演会にて八街市内幼小中学校の先生350人に配布。8月27日印旛地区教育研究会図工・美術研究部の先生130人に配布。9月14日～21日アートクラブグランプリ東京巡回展（ターナーギャラリー・東京都）で配布。9月14・15日あさか美術部合同作品展（朝霞市中央公民館コミュニティセンター・埼玉県）。※「八街中央公民館」は誤り。正しくは「八街市中央公民館」。※台風の影響で、八街演劇祭は12月に延期、第1回小出義雄杯八街落花生マラソン大会は中止、八街大祭は中止

# 八街アートウィークを楽しむ 8つのポイント “2019秋”

八街アートウィークは、若きアーティスト（市内小中学校の児童・生徒）が活躍する「演劇祭」「作品展」「音楽祭」など様々な文化的行事が集中的に開催される10・11月の約8週間。

**1 「八街市」の看板を見たら、そこはアートな街の入り口！**  
ようこそYachimata Art Cityへ！  
深く深呼吸をして、アートな空気を吸い込もう！



**2 八街を象徴するアートな建ても八街駅！**  
駅が「落花生」屋根が漢字の「八」まさにアートな駅！  
駅の中には、市民のアート作品が並ぶ「八街駅市民ギャラリー」

**3 まだまだある！“アートなもの”や“アートな場所”**  
駅南口の「像」「オブジェ」/市役所の「市制施行記念像“曙”」/拓道像（実住小）/駅北口の「落花生像」「八の形の時計塔」「落花生型の交番」「野馬像」「森のいずみ公園のウェーブ」「ペットボトルリサイクルライトアップツリー（12月）」/八街市中央グラウンドのナイター照明（落花生・スイカ・ニンジン）他  
『八街ミュージアム・アートなもの連紹介特設サイト』<https://yachimata-museum.jimdosite.com/>

**4 小学校の図工室、中学校の美術室は、アート作品の宝庫！**  
学校は、数千人の小さなアーティストたちが、日々新しい作品を生み続ける場所！その素敵な作品を、先生と友達とお家の人だけがみるのはもったいない！だから八街の小中学生の作品は街に出る！それが八街ミュージアム展！  
**“第11回八街ミュージアム展”10月14日（月）～11月3日（日）**  
八街駅南口商店街／小谷流の里ドキーズアイランド／八街市内各所で開催！  
商品を列べるフロアであるお店の方は、アートも最高に飾ってくれる！商品棚やショーウィンドウは最も身近なギャラリー！買い物を楽しみながら、お店の方との会話を楽しみながら、アートに触れる優雅な時間を楽しもう！  
**展示協力店舗募集中！**（八街中学校美術科043-443-1721、9月中旬まで）



**5 壁やシャッターは巨大なキャンバス！**  
八街ミュージアム開催のきっかけとなった、2003年開始の市内中学校美術部と八街駅南口商店街の合同プロジェクト「シャッター画制作」。  
2018年から始まった第2期では、かつてその場所にあったお店をイメージし、この街の記憶を消さないことがテーマ。なつかしい映画館「八街銀映」風ポスターも！



**市内最大級のステージ&展示スペース “八街中央公民館”**  
**アートなイベント、ぞくぞく開催予定！** ※赤字は小中学生 / 青字は大人  
『八街市民文化祭』10月5日（土）～11月3日（日） ※市民の各種大会・発表会・展示会  
『八街演劇祭～Yachimata Drama Festival～』10月13日（日） ※中学・高校演劇部の演劇等  
『八街市中学校美術部展』11月1～3日（金～日） ※中学校美術部の作品展示会  
『八街市の文化芸術振興を考える会 第9回作品展』11月1～3日（金～日） ※市内芸術家による展覧会  
『八街市小中学校音楽発表会』11月6日（水） ※小中学校吹奏楽部・合唱部等  
『ひまわり絵画展』11月16日（土）～12月1日（日） ※小中学生が描く、市の花「ひまわり」  
『八街市情報展』11月23・24日（土・日） ※小中学校の授業作品展示

**6**



**7 まだある！アートなスペース！**  
・民家を改装した「自宅手創りぎやらりーまかろん」  
・八街商工会議所のアートスペース「ギャラリー拓道」  
・プロもうなる音楽スタジオ「Why nuts?」（ワイナッツ）  
・コワーキングスペース「Nuts Up?」（ナッツアップ）



**8 その他、この時期に開催されるイベント** 八街ミュージアムHP  
第1回小出義雄杯八街落花生マラソン大会 10/27（日）メイン会場：八街中学校  
八街大祭11/2・3（土・日）市内 第42回八街市産業まつり11月17日（日）八街中学校 [詳細は各イベントHP等でご確認ください](#)

「第11回（2019年）八街ミュージアム展」スタンプラリー用紙は、2019年10月、市内小中学校、市内各所、県内美術館等で配付された。この年、八街駅南口商店街以外の協力店舗が多数加わったことや、八街市民文化祭（八街市中央公民館）と連携したことなどにより、スタンプラリー用紙を昨年度のA4両面印刷から、A3両面印刷（二つ折り）に拡大した。表面（上）にはスタンプラリーのルールなどが記載。裏面（下）には店舗名、営業時間、展示校名などが記載されている。スタンプは店舗名などが記載されている文字の上に押す形式。

**小学校の図工室、中学校の美術室は、アート作品の宝庫！**

学校は数千人の小さなアーティストたちが、日々新しい作品を生み続ける場所！  
その素敵な作品を、先生と友達とお家の人だけみるのはもったいない！  
だから八街の小中学生の作品は街に出る！それが八街ミュージアム展！



**スタンプラリーのルール**  
①交通ルールやマナーを守って、事故にあわないように気をつけましょう。  
②お店に入るとはきはしく「こんにちは」と挨拶しましょう。  
③お店の人が忙しそうだったり、接客中の時は、静かに待ちましょう。  
④「八街ミュージアム展」の作品を見に来たのですが、よろしいでしょうか。と、用紙をきちんと伝えましょう。  
⑤作品をじっくり鑑賞してから、お店の人に「スタンプをお願いできますか」と、丁寧にお願いしましょう。  
⑥お店の物や展示作品を壊したりしないように、十分に注意しましょう。  
⑦他のお客さんの邪魔にならないように気をつけましょう。  
⑧お店の方やお客さんに失礼のない、思いやりがあって礼儀正しい態度、言葉遣いをお願いします。  
⑨お礼を出す時は「ありがとうございました」と、きちんとお礼を言います。

最新の情報は何かTwitterでチェック  
公式HP  
<http://yachimata.sakura.ne.jp/index-y>  
公式Twitter  
<http://twitter.com/yachimata06>

**目指せ！スタンプラリーマスター**  
このスタンプラリーをクリアしたら、お礼として下のウケ内に必要なものを先に入力していただき、お礼状に入れます。スタンプラリー上のお礼に特別スタンプをプレゼント。お礼は11/8日、当賞券は12月上旬までに連絡します。

名前 \_\_\_\_\_ 八街ミュージアム展で「物」や「作品」や「人」と関わった感想を書きましょう

学校名（市内の小中学校や市内の学校が授業中のもの） \_\_\_\_\_ 参加以外の門は連絡先を記入して下さい。

年 組 \_\_\_\_\_

# YACHIMATA MUSEUM

## 第11回 八街ミュージアム展 EXHIBITION VOL.11

### 2019.10.14mon - 11.3sun

八街駅南口商店街/小谷流の里下ギーズアイランド/八街市内各所

八街駅南口商店街エリア（八街駅前ギャラリー、八街駅南口商店街）  
東エリア（自宅手作りギャラリー まからん）  
西エリア（八街市中央公民館、八街市郷土資料館）  
南エリア（小谷流の里下ギーズアイランド）  
北エリア（ペインシアター八街店、真行寺ピーナッフ、オランダ屋八街店）

# スタンプラリー

八街駅南口商店街を中心とした市内各所に、小中学校の児童・生徒が制作したアート作品を展示するアートプロジェクトです。

スタンプラリーを楽しみながら、商店街をまわってみましょう！  
お店や施設で八街ミュージアム展の作品を鑑賞すると、スタンプを1つ押してもらえます。さらに商品の購入や、入場料を払っての施設入場で、もう1つボーナススタンプをもらえるお店もありますよ。

<p>八街市中央公民館 043-443-3225 ※開館日、開館時間はそれぞれです</p> <p>東1 八街演劇祭 西-2（大ホール）※前夜祭 八街演劇祭 ～Yachimata Drama Festival～ 【開催日時】10月13日（日） 12：30開演 ～17：05</p> <p>西-3（2階） 八街市中学校美術部展【4中学校美術部作品】 【開催日時】11月1～3日（金～日） 9：00～16：00</p> <p>西-4（1階） 八街市の文化振興を考えた会展9作品展 【開催日時】11月1～3日（金～日）</p> <p>西-5（大ホール） 八街市郷土資料館 展示会部門 【開催日時】11月1～3日（金～日）</p>	<p>西-1 八街市郷土資料館 043-443-1726 【開催日時】 9：00～17：00 （休館日）月【中央中作品】</p>
--	--

【西エリア】

<p>東-7 八街市工芸館1階 「キョウリイ」作品展 【開催日時】 9：00～12：00 【休館日】日【中央中作品】</p>	<p>東-8 たんぽぽ 043-443-8014 【開催日時】 9：00～17：00 【休館日】日【中央中作品】</p>	<p>東-9 稲佐佳康（1階）043-442-1311 【開催日時】9：00～18：00 【休館日】日【中央中作品】</p>
--	--	--

【東エリア】

<p>東-1 自宅手作りギャラリー まからん 043-444-0834 【八街中作品】 五島勇男銅像 【開催日時】 10月25日（土） ～11月4日（月） 10：00～15：00 ※スタンプは押さないで、2日にスタンプ1枚プレゼント</p>
--

【八街駅南口商店街エリア】

<p>東-0（八街駅） 八街駅前ギャラリー 【常設展示可換】 【社会科読本 「わたしたちの八街街」 収録画一冊を展示】 ※スタンプは押さないで、全員にスタンプ1枚をプレゼント</p>	<p>東-1 専売とたらのスズメの歩 043-443-5366 【開催日時】 9：00～13：00 【休館日】日【中央中作品】</p>	<p>東-2 サンエツワール 043-443-1151 【開催日時】 7：20～18：30 【休館日】日【中央中作品】</p>	<p>東-3 源流酒造 043-444-0418 【開催日時】 8：00～19：00 【休館日】日【中央中作品】</p>	<p>東-4 いせいさびろん 043-444-0077 【八街市郷土資料館】 【開催日時】 10：00～17：00 【休館日】日【中央中作品】</p>
---	---	---	--	---

【北エリア】

<p>北-1 ペインシアター八街店 043-440-6888 【開催日時】 9：00～20：00 【休館日】なし 【中央中作品】</p>	<p>北-2 真行寺ピーナッフ 043-444-0607 【開催日時】 9：00～18：00 【休館日】なし 【中央中作品】 ※スタンプは押さないで、全員に1枚のスタンプ</p>	<p>北-3 オランダ屋八街店 043-444-5311 【開催日時】 9：30～20：00 【休館日】なし 【中央中作品】</p>
--	---	--

【南エリア】

<p>南-1 小谷流の里下ギーズアイランド 〒289-1138 八街市小谷流624 電話：043-321-1110 【小中学校作品】</p>	<p>南-2 ファーマーズ 10：00～18：00 【休館日】なし</p>	<p>南-3 パーカリー 8：00～18：00 【休館日】なし</p>
--	---	---

【東エリア】

<p>東-1 自宅手作りギャラリー まからん 043-444-0834 【八街中作品】 五島勇男銅像 【開催日時】 10月25日（土） ～11月4日（月） 10：00～15：00 ※スタンプは押さないで、2日にスタンプ1枚プレゼント</p>
--

# Episode3 History① 1997～2014

## 学校のアート街に出る

### 【印旛地区の図工・美術】

印旛地区（千葉県印旛郡、佐倉市、成田市、四街道市、八街市、富里市、白井市、印西市）では長年、地域連携（佐倉市の佐倉学、成田市成田山での写生会や参道学習、八街市の幼小中高連携教育）に取り組んできました。千葉県立美術館との連携（人事交流、学芸員体験、ワークショップ参加）、千葉大学との連携（授業研修会や研究会の講師依頼、長期研修）も盛んです。

1997年に始まった印旛郡市中学校美術部展【佐倉市立美術館×中学校美術部】など、人や作品が学校外で交流する活動が、次々に誕生し、継続している理由は、学校の枠を超えた連携を当たり前で経験している先生が、印旛地区に多いからだと思えます。

- ・印旛郡市中学校美術部展【佐倉市立美術館×中学校美術部】1997年～2020年（第24回）※2020年はWeb開催
- ・八街ミュージアム（現、八街ミュージアム展）【八街市内各所×小中学校】2009年～2020年（第12回）
- ・成田アート博覧会【成田山表参道仲之町商店街×小中学校】2011年～2020年（第10回）
- ・アートレゼン（美術部実践交流会）in千葉大学【千葉大学×中学校美術部】2012年～2019年（第8回）※2020年は中止

2004年8月、印旛郡市中学校美術部展は独自のホームページを持ちました。印旛郡市中学校美術部展の広報活動を軸にしながら、同時に「全国の中学校美術部展」「千葉県内を中心とした高校の美術部展や文化祭」「全国の美術関係の研究会」など100以上の取材レポートの発信を行ってきました。こうしたホームページの取り組みにより、美術部展、研究会に関わる全国各地の多くの先生方とつながり、互いに刺激を受け続けてきました。全国規模の研究大会で印旛郡市中学校美術部展や印旛地区図工・美術研究部の取り組みを多くの方々の前で発表・発言・広報する機会を得たことも、こうした全国各地の先生方とのつながりによるものです。

- ・2010年第49回大学美術教育学会東京大会（武蔵野美術大学）にてポスター展示（「印旛郡市中学校美術部展」「八街ミュージアム」）
- ・2011年美術による学び研修会（滋賀県立美術館）にて共同発表（全国各地の美術部展の動向について）
- ・2016年第67回造形表現・図画工作・美術教育全国大会堺大会（大阪府堺市）にてシンポジウムのパネラー（「アートクラブグランプリ」）

現在ホームページでは、2つのblog、Twitterと運動させながら、印旛地区教育研究会図工・美術研究部が主催・運営・協力などで関わっている「印旛郡市中学校美術部展」「八街ミュージアム」「成田アート博覧会」「ギャラリー拓道」「アートレゼンin千葉大学」「アートクラブグランプリ東京巡回展」を軸に、様々な情報発信を行っています。



出典：千葉県ホームページ（2021）印旛地域（いんばちいき）のみどころ「印旛地域のみどころマップ」2021年1月20日。

### 【八街の図工・美術】

印旛地区の最も南に八街市はあります。八街市は20年以上前より、小中連携を初めとした様々な連携「幼小中高連携教育」に力を入れてきました。これは学級、学年、学校という、閉ざされた集団で起こる諸問題を、子どもたちが地域や保護者など多くの他者と関わることで乗り越えた歴史があるからです。こうした市全体での取り組みにより、連携の必要性や重要性を実感した多くの先生方は、教科、行事、生徒会活動、歌声活動、キャリア教育など、様々な教育活動の中に連携を取り入れようと、貪欲に模索し続けています。

2003年、2年生の職場体験学習（市内の商店、公共施設、農家等で行う、2日間の職業体験）でお世話になった八街市南口商店街より、落書き防止のためのシャッター画制作の依頼を八街中央中学校美術部が受けます。同年12月に開始した毎週土曜日のシャッター画制作は、2007年まで続き、計6作品を完成させました。八街市の図工・美術科と八街駅南口商店街との親密な関係はここから始まり、その後、2009年、八街ミュージアム（現、八街ミュージアム展）の開催につながります。

## 【年表★黎明期（第1回以前 1997年～2008年）】

※八街ミュージアムHP内、Wikipedia風、年表より ■：印旛郡市中学校美術部展に関する記載

#### 1997年

・1997年 八街南中学校が千葉県教育委員会指定「夢を育む教育」の研究を開始。八街市の地域連携・幼小中高連携のきっかけになる。  
 【■1997年12月2日 成田市役所にて「第1回印旛郡市中学校美術部展（12/2～12/12）」開催】

#### 1998年

【■1998年8月4日 佐倉市立美術館にて「第2回印旛郡市中学校美術部展（8/4～8/9）」開催】

#### 1999年

【■1999年8月24日 佐倉市立美術館にて「第3回印旛郡市中学校美術部展（8/24～8/29）」開催】  
 ・1999年10月 八街市内循環バス（八街市ふれあいバス）が運行開始。デザインは八街南中学校が全校で取り組み、3年生女子の作品が採用されたもの。

#### 2000年

【■2000年8月15日 佐倉市立美術館にて「第4回印旛郡市中学校美術部展（8/15～8/20）」開催】

#### 2001年

【■2001年8月14日 佐倉市立美術館にて「第5回印旛郡市中学校美術部展（8/14～8/19）」開催】

#### 2002年

【■2002年8月6日 佐倉市立美術館にて「第6回印旛郡市中学校美術部展（8/6～8/11）」開催】

#### 2003年

・2003年 八街中学校プールフェンスの壁画の制作が始まる。  
 【■2003年8月7日 佐倉市立美術館にて「第7回印旛郡市中学校美術部展（8/7～8/13）」開催】

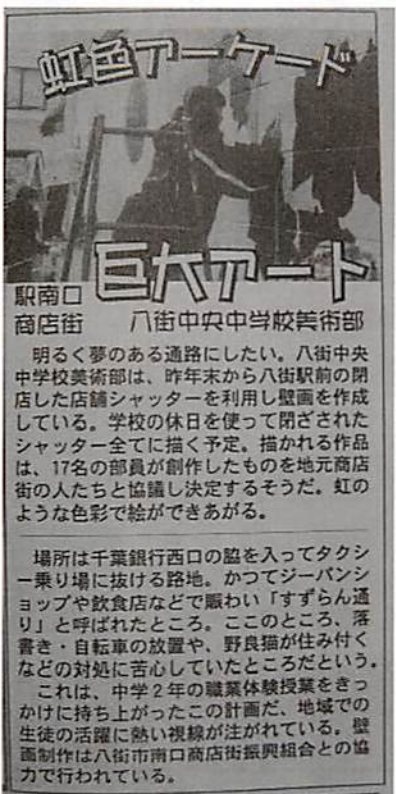


・2003年12月 落書きに悩まされていた八街駅南口商店街振興組合が、職場体験学習で交流のあった八街中央中学校にシャッター画を依頼し、同校美術部による毎週土曜日のシャッター画制作が始まる。



### 2004年

・2004年2月1日 八街の情報誌『らっかぼっちNo. 71』ASA八街中央で、シャッター画の取り組みが紹介される。  
[https://blog.goo.ne.jp/inbabi\\_jyutubu/e/fd1d799a85cefadb600eeda3b281d899](https://blog.goo.ne.jp/inbabi_jyutubu/e/fd1d799a85cefadb600eeda3b281d899)



・2004年2月1日 『八街会議所ニュース第516号(八街商工会議所発行)』で、シャッター画の取り組みが紹介される。  
[https://blog.goo.ne.jp/inbabi\\_jyutubu/e/72fcc4794c64acc02d71337b19b860f](https://blog.goo.ne.jp/inbabi_jyutubu/e/72fcc4794c64acc02d71337b19b860f)

・2004年2月4日 『くみあいニュース第011号(八街駅南口商店街振興組合発行)』で、シャッター画の取り組みが紹介される。  
[https://blog.goo.ne.jp/inbabi\\_jyutubu/e/8976b4ae721d40915d62db5d5e3118f5](https://blog.goo.ne.jp/inbabi_jyutubu/e/8976b4ae721d40915d62db5d5e3118f5)

・2004年7月12日 地域の方からシャッター画に関する詩を頂き、『さくらの園 第5号(八街中央中学校発行の学校便り)』で紹介される。  
[https://blog.goo.ne.jp/inbabi\\_jyutubu/e/4ed4c695c1e12e926440d497a716d80](https://blog.goo.ne.jp/inbabi_jyutubu/e/4ed4c695c1e12e926440d497a716d80)

【2004年8月10日 佐倉市立美術館にて「第8回印旛郡市中学校美術部展(8/10~8/15)」開催】

### 2005年

・2005年 1枚目~4枚目のシャッター画が完成。



【2005年7月26日 佐倉市立美術館にて「第9回印旛郡市中学校美術部展(7/26~7/31)」開催】

・2005年8月1日 「第9回印旛郡市中学校美術部展」の八街巡回展として、4中学校美術部による「第1回八街市中学校美術部展(8/1~9/5)」を八街駅市民ギャラリーにて開催。  
[https://blog.goo.ne.jp/inbabi\\_jyutubu/e/e6af2a17ba51b5fa8a59f0ec8170f545](https://blog.goo.ne.jp/inbabi_jyutubu/e/e6af2a17ba51b5fa8a59f0ec8170f545)



・2005年8月27日 『エリート情報 佐倉版355号』(株)エリート情報社発行で、シャッター画が紹介される。  
[https://blog.goo.ne.jp/inbabi\\_jyutubu/e/f7b20c20c98c9449e34c7ad37890a743](https://blog.goo.ne.jp/inbabi_jyutubu/e/f7b20c20c98c9449e34c7ad37890a743)

### 2006年

・2006年 5枚目のシャッター画が完成。  
 【2006年7月25日 佐倉市立美術館にて「第10回印旛郡市中学校美術部展(7/25~7/30)」開催】



・2006年10月 八街中学校プールフェンスの壁画完成。

### 2007年

・2007年 6枚目のシャッター画が完成し、シャッター画の制作を終了。(シャッター画、第一期2003年~2007年、終了)  
[http://bi\\_jyutubu.sakura.ne.jp/y-1-2](http://bi_jyutubu.sakura.ne.jp/y-1-2)



【2007年7月24日 佐倉市立美術館にて「第11回印旛郡市中学校美術部展(7/24~7/29)」開催】

### 2008年

【2008年7月21日 佐倉市立美術館にて「第12回印旛郡市中学校美術部展(7/21~7/27)」開催】

## 八街を描く1 『八街市 ふれあいバス』

1999年10月に運行が開始された八街市内循環バス(八街市ふれあいバス)のデザインは八街南中学校の生徒によるもの。デザイン募集に、八街南中学校、美術科の授業で、全校生徒が取り組み、八街のイメージをデザインに生かした作品数百枚を応募。3年生女子生徒による、ひまわり、ハチ、音符、風船、星などをデザインに取り入れた作品が採用された。



※現在は新しいデザインのバスが市内を走行している。

## 【八街ミュージアムと研究発表】

2009年第62回全国造形教育研究大会2009千葉大会において、地域連携に関する研究発表を印旛地区の中学校がおこなうことが決定しました。地域連携に長けた地域、学校、教師を探中で、すでに八街駅南口商店街と良好な関係を築いていた八街中央中学校の美術科が適切であるという結論に至ります。以前から印旛地区の様々な活動の中で交流のあった3名の中学校美術科教師が中心となり、「八街ミュージアム」の準備と、研究会での発表準備が始まります。

- ・印旛中学校美術科（研究会の部会代表）：商店街を美術館に見立てた小中学生による地域型展覧会を立案
- ・八街中央中学校美術科：全体企画・運営準備・研究会での発表準備
- ・成田中学校美術科（シャッター画に関わった前八街中央中学校美術科）：企画を商店街に提案・協力依頼

学校側が提案した企画を、商店街側が快く承諾。八街中央中学校区の児童・生徒や先生方、保護者の皆様、商店街の方々など多くの人々に支えられ、2009年10月、第1回八街ミュージアムは開催します。同年11月、第62回全国造形教育研究大会2009千葉大会において「八街ミュージアム」に関する研究発表がおこなわれ、印旛地区や八街市の取り組みを全国各地から集まった先生方に伝える、貴重な機会となりました。

八街ミュージアムのように、研究発表をきっかけに誕生する取り組みは珍しくありません。しかし研究発表後すぐ終了したり、中心的な役割を果たす教師が人事異動で学校を離れることで終了したりするケースも多く、10年以上継続することは希です。八街ミュージアムは、2009年の研究発表以降も、数年ごとに研究会での発表を繰り返し、そのたびに多くの先生の協力のもと、仮説を立て、実践し、検証されてきました。継続して研究発表をおこなってきたことも、八街ミュージアムが長く継続している重要な要因だと思われま

- ・2009年第62回全国造形教育研究大会2009千葉大会にて研究発表
- ・2010年第49回大学美術教育学会東京大会（武蔵野美術大学）にてポスター展示（「八街ミュージアム」「印旛郡市中学校美術部展」）
- ・2012年第63回千葉県教育研究会造形教育部会研究大会にて研究発表（「八街ミュージアム」）
- ・2015年アジア基礎造形連合学会2015成田大会の展示企画の中でパネルによる概要説明や作品展示（「八街ミュージアム」と「成田アート博覧会」）
- ・2019年第70回千葉県教育研究会造形教育部会研究大会にて「八街ミュージアム」に関連した研究発表と、来年度に向けたプレ研究発表
- ・2020年第73回全国造形教育研究大会2020成田大会にて研究発表の予定も、中止となる。



## 【近隣にライバルをつくる「成田アート博覧会」】

八街ミュージアム開催の2年後（2011年）には、成田市立成田中学校が成田山新勝寺での写生会で制作した絵画作品を、成田山表参道仲之町商店街に展示する「第1回成田ミュージアム（第2回より「成田アート博覧会」）」が開催されます。これは、八街ミュージアムを成田の街に応用したのですが、千葉県立美術館の協力で展示を行うことや、千葉大学の先生のアドバイスで外国人観光客向けに個表に英訳を付けることなど、独自の進化を遂げています。これ以降、八街ミュージアムと成田アート博覧会は、公式ライバルとして互いに刺激を受けながら継続していくこととなります。地域型展覧会の成長・発展には、近隣に切磋琢磨するライバルの存在が必要なのです。



# 年表2 創成期（第1回2009年～第6回2014年）

※八街ミュージアムHP内、Wikipedia風、年表より ■：印旛郡市中学校美術部展に関する記載 ▲：成田アート博覧会に関する記載

### 2009年

■2009年1月13日 「第1回アートクラブランプリ（全国中学校美術部作品展）inSAKAI（北野田フェスティバル1/5～1/12）」開催。印旛郡市中学校美術部展がHPを通じて間接的に協力。表彰式に来賓として出席

■2009年7月20日 佐倉市立美術館にて「第13回印旛郡市中学校美術部展（7/20～7/26）」開催

・2009年10月3日 八街中央中学校区による「第1回八街ミュージアム（10/3～11/8）」開催。【初代表：八街中央中学校美術科主任】

・2009年11月20日 『blog武蔵野美術大学 旅するムサビプロジェクト』に記事掲載。  
<https://tabimusa.exblog.jp/9276234/>

・2009年11月26日 「第62回全国造形教育研究大会 2009千葉大会（11/26・11/27）」にて「八街ミュージアム」の研究発表。【提案者：八街中央中学校美術科主任（八街ミュージアム代表）】

### 2010年

・2010年4月 道徳副教材「中学生の新しい道1（千葉県中学校長会編）」に、八街の砂あらし、通称「やちほこり」を題材にし

た、郷土愛の物語が加わる。

・2010年 八街中学校プールフェンスが6月より改修工事に入るため、それまでの壁画が撤去される。

■2010年7月19日 佐倉市立美術館にて「第14回印旛郡市中学校美術部展（7/19～7/25）」開催

・2010年9月18日 「第49回大学美術教育学会東京大会（武蔵野美術大学9/18・9/19）」にて「八街ミュージアム」と「印旛郡市中学校美術部展」の研究発表（ポスター展示）。【共同発表：八街中央中学校美術科主任（八街ミュージアム代表）／印旛中学校美術科主任（八街ミュージアム原案）／成田中学校美術科主任（印旛郡市中学校美術部展HP担当）】

■2010年9月19日 佐倉市立美術館にて「第15回印旛郡市中学校美術部展（9/19～9/25）」開催

・2010年10月 「第2回八街ミュージアム（10/9～11/7）」開催。

・2010年10月 八街中学校プールフェンス改修工事終了に伴い、新たな壁画制作開始。

### 2011年

・2011年2月 八街中学校プールフェンスの新たな壁画完成。



■2011年8月6日 「美術による学び研修会（滋賀県立美術館3/6・8/7）」フォーラム1「美術部から広がる輪」にて、印旛郡市中学校美術部展HPから見る全国各地の中学校美術部展の動向を発表。【共同発表：全国中学校美術部作品展代表／滋賀県中学校美術部顧問／兵庫県明石市立魚住東中学校美術部顧問／大阪府堺市アートレゼン代表／成田中学校美術科主任（印旛郡市中学校美術部展HP担当）】

■2011年9月19日 佐倉市立美術館にて「第15回印旛郡市中学校美術部展（9/19～9/25）」開催

・2011年10月15日 「第3回八街ミュージアム（10/15～11/6）」開催。

【▲2011年11月12日 成田山表参道仲之町商店街を会場に「第1回成田ミュージアム（現・成田アート博覧会）（11/12～11/27）」開催。地域型展覧会の成長・発展には、近隣に切磋琢磨するライバルの存在が必要との考えから誕生。八街ミュージアムを参考にした地域型展覧会で商店街や保護者へ配布する文書は、全て八街ミュージアムのものを元としている。】  
<http://bijyutubu.sakura.ne.jp/index-n>

**街かど美術館「成田ミュージアム」**  
 成田山表参道仲之町商店街にて **開催中!**  
 平成23年11月12日(土)～11月27日(日)  
 (木工業者の期間)



成田山表参道仲之町商店街のたくさんのお店に、成田の学校の子どもたちが集った、成田の外部がたくさん集まっています。ぜひ、ご覧ください。  
 ◎4階には、8月8日に成田駅前中であつた学生まで7枚を掲げ、開館の機会を待ちます。  
 ◎1階には学校の大作展、2階には本展、3階には成田70周年展を開催いたします。  
 ◎11/6の夜より3階に閉鎖しています。

**2012年**

・2012年 『新美術表現と鑑賞・千葉県版（開隆堂出版）』に八街駅・シャッター画が掲載。  
[https://blog.goo.ne.jp/inbabi\\_jyutubu/c/4bfe77f70507d27b059a933c952a5610](https://blog.goo.ne.jp/inbabi_jyutubu/c/4bfe77f70507d27b059a933c952a5610)

・2012年 映画『エイトレンジャー（監督：堤幸彦、主演：関ジャニ∞）』の劇中に、シャッター画を含む八街市内各所の風景が使用される。

【■2012年7月24日 佐倉市立美術館にて「第16回印旛郡市中学校美術部展（7/24～7/29）」開催】

【■2012年8月14日 千葉市民ギャラリー・いなげにて「第1回近隣中学校美術部合同展（現・千葉市中学校美術部展）（8/14～8/19）」開催。印旛郡市から千葉市に異動した美術部顧問が中心となり立ち上げ。】

【■2012年8月24日 千葉大学にて「第1回アートレゼン（美術部実践交流会）in千葉大学」が印旛郡市中学校美術部展主催で開催】



【■2012年9月25日 CCAAアートクラブ坂ギャラリー1・2・3にて「アートクラブグランプリ（全国中学校美術部作品展）東京巡回展（9/25～10/3）」開催。関東で初の巡回展となり、印旛郡市中学校美術部展より2名視察。翌年以降の巡回展協力につながる】

・2012年10月13日 「第4回八街ミュージアム（10/13～11/4）」開催。

【▲2012年11月11日 名称を「成田ミュージアム」から「成田アート博覧会」として、「第2回成田アート博覧会～百年前の成田から百年後の成田へ（11/17～12/2）」を開催。成田山表参道仲之町商店街・大野屋旅館・成田観光館を会場に「成田の現在・過去・未来」を表現。（平成24年度文化庁文化芸術振興費補助金 文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業）】



・2012年11月16日 「第63回千葉県教育研究会造形教育部会研究大会」にて「八街ミュージアム」2度目の研究発表。【共同提案：八街中央中学校美術科主任（八街ミュージアム代表）／実住小学校図画工作科主任】

**2013年**

【■2013年7月23日 佐倉市立美術館にて「第17回印旛郡市中学校美術部展（7/23～7/28）」開催】

【■2013年8月19日 ターナーギャラリーにて「アートクラブグランプリ（全国中学校美術部作品展）東京巡回展（8/19～8/24）」開催。印旛郡市中学校美術部展が搬出の協力を行う】

【■2013年8月26日 千葉大学にて「第2回アートレゼン（美術部実践交流会）in千葉大学」が印旛郡市中学校美術部展主催で開催】

【■2013年8月27日 千葉市ハーモニープラザ内 千葉市男女共同参画センター1Fギャラリーにて「アートクラブグランプリ（全国中学校美術部作品展）千葉巡回展（8/27～9/8）」が印旛郡市中学校美術部展主催で開催】

・2013年10月13日 「第5回八街ミュージアム（10/12～11/4）」開催。

【▲2013年11月 教育美術11月号に「成田アート博覧会」の記事掲載【文責：千葉県立美術館学芸員／成田市立成田中学校美術科主任（成田アート博覧会代表）】】

【▲2013年11月16日 成田山表参道仲之町商店街・成田観光館にて「第3回成田アート博覧会（11/16～12/1）」開催】

**2014年**

【■2014年7月19日 佐倉市立美術館にて「第18回印旛郡市中学校美術部展（7/19～7/25）」開催】

【■2014年8月5日 ターナーギャラリーにて「アートクラブグランプリ（全国中学校美術部作品展）東京巡回展（8/5～8/12）」開催。印旛郡市中学校美術部展が搬入・搬出等の協力を行う】

【■2014年8月25日 千葉大学にて「第3回アートレゼン（美術部実践交流会）in千葉大学」が印旛郡市中学校美術部展主催で開催】

・2014年10月 「第6回八街ミュージアム（10/11～11/3）」開催。

【▲2014年11月15日 成田山表参道仲之町商店街・成田観光館にて「第4回成田アート博覧会（11/15～11/30）」開催】

**八街を描く2 『ふるさとの赤い土』** 千葉県中学校長会編 道徳副教材「中学生の新しい道1」

挿絵 水彩色鉛筆 八街中央中学校 玉造明男 2010年  
 2010年 第1回アトリエ職員室(千葉県北総地区教職員展)佐倉市立美術館



八街の砂あらし、通称「やちぼり」を題材にした、郷土愛の物語。中学校1年生の道徳資料として作成。八街市の中学校に長く勤務し、八街をこよなく愛する2人（文：吉田浩【国語科】、挿絵：玉造明男【美術科】）による作品。